

過去に実施された下記(3種)研究にご参加くださった方で、

「将来行われる研究への試料・情報の利用」にご同意された方 への情報です

過去に実施された研究	乳児期角層バリア因子と母乳中因子の解析
	乾燥肌または軽度のアトピー性皮膚炎を有する小児を対象としたキッズスキンケア製品の使用による安全性確認試験
	<i>in vivo</i> 共焦点ラマン分光装置を用いた小児のアトピー性皮膚炎における特徴的な皮膚構成成分の解析

研究名：

皮膚バリア機能障害を要因とする皮膚疾患の角層構成成分と
臨床症状の関連性に関する検討

1. 研究の目的

この研究ではアトピー性皮膚炎、乾癬、魚鱗癬、無汗性外胚葉形成不全症などのバリア機能障害が想定される疾患について、臨床症状と角層構成成分の相関のほか、ステロイド外用を含む標準的な外用治療による臨床症状・角層構成成分の変化との関連性の検討を目的としています。日本人小児を対象にアトピー性皮膚炎、乾癬、魚鱗癬、無汗性外胚葉形成不全症等のバリア機能障害が想定される疾患において、標準的治療が角層内因子に及ぼす影響の詳細を共焦点ラマン分光装置で解析し、より正確な診断や治療効果判定、ひいては個別化医療につながることを期待されます。

2. 研究の方法

①研究対象

皮膚科研究（下記3種）にご参加いただいた方で、「将来行われる研究への試料・情報の利用」にご同意された方

過去に実施された研究の名称

- ・ 乳児期角層バリア因子と母乳中因子の解析
- ・ 乾燥肌または軽度のアトピー性皮膚炎を有する小児を対象としたキッズスキンケア製品の使用による安全性確認試験
- ・ *in vivo* 共焦点ラマン分光装置を用いた小児のアトピー性皮膚炎における特徴的な皮膚構成成分の解析

②研究期間

倫理審査委員会承認後 ～ 2030年3月

③研究方法

先行研究で行わせていただいた、臨床症状の評価、前腕内側の皮膚構成成分等の測定と写真撮影のデータ、既往歴や併用薬等の情報を解析に利用します。

3. 研究に用いる情報の種類

既往歴、検査データ、臨床症状の評価データ、年齢 等

患者さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報は調査対象ではなく、**個人情報は保守**されます。

4. 情報の公表

研究内容は学会発表や学術論文の形で公表する予定です。

5. 研究実施機関

国立成育医療研究センター

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2025年1月末までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

○照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター 皮膚科 吉田和恵

住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1

電話：03-3416-0181

○研究責任者：

国立成育医療研究センター 皮膚科 吉田和恵